




事業番号	11.08.01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	快適・安心住まいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課
		実施期間	S25 ~	E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり			
	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造	4-5 地球環境への貢献			
	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】<長野県住生活基本計画>（※R3年度改定予定） 「安心ですこやか、多様な暮らしを支える住まいをめざして」～信州の住みよい暮らしを次代につなぐ～ ○2050ゼロカーボン実現に向け、高い断熱性能を有し、県産材活用等による『信州らしい住まい』の普及 ○増加する空き家・既存ストックの有効活用と流通及び適正管理 ○地域に根差した住宅産業の育成、住まいづくりの担い手確保 【これまでの取組】 ○省エネルギー等に配慮した住宅の新築・リフォームへの支援 ○空き家対策の促進、古民家等の活用促進、二地域居住の促進、木造建築物の普及促進								
	令和2年度点検結果 ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・2050ゼロカーボン実現に向け、住宅分野においても更なる温室効果ガス排出削減の取組が必要</td> <td>・高い断熱性能を有し、高効率設備と創エネによる環境負荷を低減した、県産材を活用した快適で健康的な「信州らしい住まい」の普及</td> </tr> <tr> <td>・空き家が増加するなか、既存住宅の活用、空き家の適正管理の取組が必要</td> <td>・既存住宅現況検査（インスペクション）等による既存住宅市場の円滑な流通促進</td> </tr> <tr> <td>・大工技能者の減少・高齢化が進み、木造建築物の担い手の確保、技術力の維持が必要</td> <td>・県内事業者の施工を対象とした助成、木造建築物の担い手の確保及び育成</td> </tr> </tbody> </table>	課題	今後の方向性	・2050ゼロカーボン実現に向け、住宅分野においても更なる温室効果ガス排出削減の取組が必要	・高い断熱性能を有し、高効率設備と創エネによる環境負荷を低減した、県産材を活用した快適で健康的な「信州らしい住まい」の普及	・空き家が増加するなか、既存住宅の活用、空き家の適正管理の取組が必要	・既存住宅現況検査（インスペクション）等による既存住宅市場の円滑な流通促進	・大工技能者の減少・高齢化が進み、木造建築物の担い手の確保、技術力の維持が必要
課題	今後の方向性								
・2050ゼロカーボン実現に向け、住宅分野においても更なる温室効果ガス排出削減の取組が必要	・高い断熱性能を有し、高効率設備と創エネによる環境負荷を低減した、県産材を活用した快適で健康的な「信州らしい住まい」の普及								
・空き家が増加するなか、既存住宅の活用、空き家の適正管理の取組が必要	・既存住宅現況検査（インスペクション）等による既存住宅市場の円滑な流通促進								
・大工技能者の減少・高齢化が進み、木造建築物の担い手の確保、技術力の維持が必要	・県内事業者の施工を対象とした助成、木造建築物の担い手の確保及び育成								

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	■2050ゼロカーボン実現に向け、信州健康エコ住宅の普及促進 ・地域工務店の技術力向上に資する指針等の策定 ・高い断熱性能を有し、信州の恵まれた自然環境を活かした、快適で健康的な住宅の新築への支援を実施	 環境に配慮した住宅 (R2建築賞：最優秀賞)
	■空き家適正管理・利活用の推進 ・増加する空き家の適正管理と円滑な流通を促進するため、専門家の派遣等により、市町村が行う空き家対策への技術的支援を実施 ・中古住宅流通促進のため、既存住宅現況検査（インスペクション）費用等への補助を実施	 市町村への 専門家派遣
	■木造建築物の担い手確保・育成 ・県産木材を活用した木造建築物の増加や担い手確保を図るため、優良な木造建築物の表彰、中学校へ大工技能者の派遣を実施	 中学校への 大工技能者の派遣

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)	R3年度 目標値	事業 コスト	区分(単位:千円)		
前年度繰越			R1年度	R2年度	R3年度										
1	省エネルギー基準適合率(300㎡以上)	91.8%	92.2%	↑	92.5%	↑	93.2%					当初予算 192,241 補正予算 △12,000 合計(A) 180,241 うち一般財源 98,881 決算額(B) 165,167 職員数(人) 4.6	192,241	191,410	要求 199,460 予算案 224,943
2	新築住宅の県産木材使用量(助成分)	3,324m³	3,451m³	↑	3,330m³	↓	3,330m³						△12,000	△825	
3	空家等対策計画策定市町村の割合	50.6%	57.1%	↑	61.0%	↑	67.0%								要求 199,460 予算案 224,943
4	新設住宅の木造在来工法の割合	75.4%	75.4%	→	75.0%	↓	75.0%								要求 110,920 予算案 124,846
5															要求 110,920 予算案 124,846
成果指標設定理由		1 建築物省エネ法、長野県地球温暖化対策条例による建築物の省エネに対する取組成果として適合率を設定 2 県産木材を利用した住宅への補助による利用促進の効果として、県産木材の使用量を成果指標に設定 3 県の技術的助言等の支援による市町村の空き家対策の成果として、計画を策定した市町村割合を設定 4 木造在来工法の住宅への補助等による木造住宅振興の効果として、新設住宅の木造在来工法の割合を設定													
予算要求からの 主な変更点		健康エコ住宅普及促進事業及び環境配慮型住宅普及促進事業を、信州健康エコ住宅普及促進事業に統合し増額													

事業名	快適・安心住まいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課
-----	-----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	信州健康エコ住宅普及促進事業費	173,460 千円	168,660 千円	要求 175,409 予算案 201,092 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	指針策定等支援業務	委託	住宅分野における2050ゼロカーボン実現に向け、地域工務店の技術力向上の図るため、「信州らしい住まい」の指針の策定、講習会等の実施 【指針の作成、講習会 4回】
2	信州健康エコ住宅普及促進事業	補助金	県産木材を活用等した健康エコ住宅の新築並びに環境配慮型住宅の新築及びリフォームへの助成 【助成件数 信州健康エコ住宅（新築）：当初分 80件 環境配慮型住宅（新築）：当初分 60件、R2債務分 50件 環境配慮型住宅（リフォーム）：当初分 207件、R2債務分 15件】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	空き家適正管理促進事業費	2,995 千円	3,597 千円	要求 3,237 予算案 3,237 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	市町村空き家対策サポート事業	直接	セミナーの開催、専門家派遣により情報提供及び技術的な助言を行い、市町村が実施する空き家対策へ支援 【空き家対策セミナーの開催 2回、市町村へ専門家の派遣 41人】
2	あんしん空き家流通促進事業	補助金	消費者が安心して空き家を購入できる市場環境を整備するため、既存住宅現況検査費用（インスペクション）及び既存住宅売買瑕疵保険料への補助 【補助件数：既存住宅現況検査 30件、既存住宅売買瑕疵保険料 20件】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	信州木のある暮らし推進事業費	4,688 千円	3,302 千円	要求 3,347 予算案 3,347 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	信州木のある暮らし推進事業	直接	木造建築物の普及と担い手確保に向けた取組、及びコンパクト住宅モデルプランのプレゼンテーションによる移住・二地域居住の促進 【“信州の木”建築賞の開催、中学校への大工技能士派遣 24クラス、プレゼンテーション 3回】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
4	住宅・建築施策推進事業費	11,098 千円	15,851 千円	要求 17,467 予算案 17,267 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	長野県住生活総合計画策定事業	委託	長野県住生活総合計画（仮称）の策定（住宅施策の3計画の統合・改定）に伴う各種分析及び調査等を外部委託
2	新たな住宅セーフティネット普及事業	直接	住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の増加及び入居支援を促進することを目的として、市町村・不動産及び福祉関係者を対象としたセミナーを開催【1回】
3	信州の多様な住まい方推進事業	委託	信州の多様な住まい方をサポートする総合住宅情報サイトの維持管理を委託
4	ふるさと古民家再生支援事業	直接	古民家の適切な改修と活用を図るため、専門家を派遣し、調査・提案等を実施 【古民家調査 10件、再生提案 2件、古民家再生協議会運営】